


豊橋技術科学大学長 殿

平成 6 年 2 月 28 日





審査委員長

鈴木 康 

論文審査及び最終試験の結果報告書

このことについて、下記の結果を得ましたので報告いたします。

記

学位申請者	Ho Chin Siong	学籍番号	第 917950 号	
申請学位	博士 (工学)	専攻名	システム情報工学	
論文題目	EVALUATION OF HOUSING ESTATES DEVELOPMENT IN RELATION TO HOUSING SUPPLY IN MALAYSIA - The Case Study of Johor Bahru Metropolitan Area -			
公開審査会の日	平成 6 年 2 月 22 日			
論文審査の期間	平成 6 年 1 月 27 日～平成 6 年 2 月 22 日	論文審査の結果	合格	
最終試験の日	平成 6 年 2 月 22 日	最終試験の結果	合格	
論文内容の要旨	<p>一般に発展途上国での都市住宅問題は、スラムやスコッター問題として認識されているが、マレーシアでは、1980年代後半から「放棄住宅」の形をとって現われた。本論文は、ジョホールバル都市圏をケーススタディすることで、この放棄住宅の実態、原因を明らかにし、今後の住宅需給のミスマッチを正す方向付けを求めて行った研究である。発展途上国に共通する、資料の絶対的不足の中で、この研究は①行政当局保有データの掘り出し②専門家集団へのヒヤリング③居住者へのアンケート調査を行い、基礎資料の確立から出発して準無作為抽出法等を用いた詳細な分析を試みている。</p> <p>本論文は11章構成で、第1～4章は既存資料によるマレーシアの住宅事情に関する背景条件の分析、第5～7章では①②資料による「放棄住宅」の問題構造の分析、第8～9章で③調査による、マッチングすべき住宅需給構造の在り方の分析、第10章は結論、第11章は補章として仮説を含めて今後のマレーシア都市住宅政策への提言を示している。</p>			
審査結果の要旨	<p>本論文の主要な特徴は三点ある。第1は、資料の絶対的不足に対して、精力的な第一次資料の収集を試み、発展途上国における都市住宅研究の在り方の1つのモデルを提供したことにある。政治、経済、文化、歴史条件が異なれば、発生する問題や課題はそれぞれに異なってくる。そのため事態を正しく把握する資料の作成・収集から出発しなければならない制約下で、各種の手法を駆使して貴重な知見を明らかにした労作である。</p> <p>第2に、現在のマレーシアに特有の課題としての、放棄住宅問題の構造を明らかにしたことである。多民族社会の住宅政策、団地開発への許認可システム、団地計画、住宅需給問題に至る広範な課題を一つづつ解きあかした業績は大である。</p> <p>第3に、今後の住宅需給の正しい在り方の提示の為の、居住者ニーズの把握と型区分、その定量化の試みを行い、合理的科学的な住宅計画への重要な貢献を行ったことである。このように、本論文は、学術的のみならず実務的にも高く評価され得るものである。</p> <p>以上により本論文は博士(工学)の学位論文に相当するものと判定した。</p>			
審査委員	鈴木 康 	紺野 昭 	三宅 西 	

(注) 論文審査の結果及び最終試験の結果は「合格」又は「不合格」の評語で記入すること。